

On Your Mark, Get Set !

この夏をどう過ごすか

進路に向けた大きな山である夏休みがやってきました。例年よりも短い夏休みにはなりますが、実りのあるものにするために、必要なことをいくつか記しておくことにします。やるか、やらないかは自分次第。後悔するか、しないかも自分次第。すべてはほかの誰でもない、《自分》にかかっています。ここで本気にならないで、いつ本気になるのか。目指す道はそれぞれ異なりますが、容易い道ではありません。後悔のない選択・行動をしましょう。

① バランスの良い学習

いつも好きな教科から学習をしていませんか。特に日本史は英国よりも頭に入りやすく、短期間で成績が伸びやすい傾向にあります。それは英国、とくに英語は蓄積した知識が連動するのに非常に時間のかかる教科だからです。その結果、徐々に日本史の成績を伸ばしている一方で、それ以外の他教科は壊滅的な成績の生徒もいます…。秋以降、日本史に力を入れるためにも、夏休みは英国に一定の目標を定めて学習することをお勧めします。

例1 社会得意型:英語 40% 国語 40% 日本史 20% ★★

例2 バランス型:英語 40% 国語 30% 日本史 30% ★

例3 英語苦手型:英語 50% 国語 30% 日本史 20% ★★★

現段階で英語の偏差値が50に届いていない生徒は 全員 例3 にあてはまると考えてもかまいません。とにかく大学受験で勝つためには英語！英語ができなければ合格できないといっても過言ではありません。

② 学習の流れ

同じ内容ばかりを延々とやらないことがポイント！単語1つをとっても、眺めているだけでは頭には入らない。見たり、読んだり、書いたり…頭に色々な刺激を与えることで定着化します。

同様に同じ科目ばかりをやるのではなく、1日の中でバランスよく配置して学習の計画をたてましょう。

苦手な科目は後回しにしがちだけど、先にやるべき。好きな科目は何時でも、疲れていても気持ちはおれないけど、嫌いな科目はどこかで妥協してしまいがちです。

③ 勉強のコツ(*休校期間中のHRでもお話しましたが…)

1. コンカレントワーキング(並行作業)

1つのことを長時間やるよりも、いくつかの作業を同時並行して進めたほうが、効率的で生産性が高まるということ。学習においても1日の中で様々な科目を組み合わせる、同じ科目に取り組むにしても違う分野を組み合わせたほうが集中力はあがります。暗記系学習×思考系学習を交互に繰り返すことが効果的だといわれています。

2. 1日のコンディション

人間は時間帯に応じて「向いている作業」と「向いていない作業」があるといわれています。朝 9-12 時はロジカルな時間帯といわれ、分析的な思考が強い時間帯なので、論理的に考える英文解釈や現代文などの思考系の学習に取り組むことをおすすめします。

反対に日中 13-15 時はエモーショナルな時間帯といわれ、暗記系やイメージを作る学習に向いているようです。コンカレントワーキングを意識して、学習の計画をたてるなら、朝 9 時には確実に学習を開始させましょう。

3. 忘れるに決まっているから・・・

ドイツの心理学者エビングハウスの忘却曲線という理論は聞いたことがありますか。これによると **10 個の単語を覚えた**とすると、**48 時間後には 70～80%は忘れてしまう** という理論です。

しかし、一方で、繰り返し復習すれば忘れるスピードが遅くなり、復習を 3 回すれば 48 時間後でも半分以上は覚えていられることが分かっています。**復習の重要性は定着度に大きく関係**しています。復習回数の日安は **5 回**ともいわれています。以下を参考に定期的に復習する習慣を。

学習当日⇒①当日寝る前⇒②翌日⇒③1 週間後⇒④2 週間後
⇒⑤1 か月後

4. 理解→インプット→アウトプットのサイクル

理解しないでインプットをしようとしてもなかなか頭には入りません。丸暗記ではなく、**1つ1つ理解するプロセスを踏みま**しょう。また、アウトプット(問題演習)をすることで、知識の使い方や出題パターンなどを把握することができます。一生懸命覚えているのに問題が解けない、模試の成果が出ない原因は演習不足が考えられます。

理解する→インプット→アウトプット この流れで学習する意識を！！

5. 暗記の作法

英単語や古文単語などの暗記系は長時間やるのではなく、短時間を繰り返す。その際は必ず発音する習慣を！例文をスムーズに読めるようになると思も刺激され、読解力にもつながります。

3 科の学習のみならず、推薦を考えている人は、小論文・面接対策など、一般選抜に絞っている生徒よりもやらなければならないことが多いです。推薦で合格を勝ち取るのは一般よりも厳しい道になるかもしれません。不合格だったときのことを考え、一般選抜でも戦える学力を同時につけていかなければなりません。**毎日コツコツと取り組みま**しょう。

◎調査書や推薦書について

大学・専門・就職問わず、担任に調査書や推薦書を希望する場合、少なくとも**自分の出願する予定の日の 1 か月前**に声をかけるようにしてください。そこで必ず**いつ、出願・提出を考えているか**を口頭、そしてメモや付箋を張り付けて書類を渡すようにしてください。

※1 人 1 人の出願時期や締め切りをすべて把握することは不可能です。必ず自分で調べて把握したうえで、保護者の方に必ず共有してください。**提出期限に遅れても一切、責任はとれません！**

◎大学進学以外の進路希望の生徒へ

大学進学はしないから、といって勉強をおろそかにしないこと。**普段からの学習成績にも表れて**います。卒業後の進学先で学ぶ分野についての学習と併せて、高校 3 年間で学習した内容を総復習しましょう。**また、面接練習やエントリーシートの添削などは早め、早めに声をかけて**ください。**直前では対応できません。**

◎今後の予定(現時点)

8 月 28 日 第 2 回河合塾全統記述模試

8 月 29 日 始業式 (※半袖正装)

10 月 13 日-16 日 第 3 回定期考査

10 月 17 日 第 3 回河合塾共通テスト模試

10 月 27 日 第 3 回河合塾全統記述模試

11 月 26 日 河合塾全統プレ共通テスト模試



以上

量より質はもちろんだけど、まだまだ量をこなさないと質もあがりません。学校、教員、予備校、など、すべてを使いこなして、受験を乗り切ろう。**受験勉強は本当につらくて苦しいけれど、間違いなく、みなさんを成長させます。**夏休み明けパワーアップしたみなさんに会えることを楽しみにしています。

◎保護者の皆様へ

先日は暑い中、ご来校いただきありがとうございました。

高校最後の夏休みを迎えるにあたり、進路中心の学級通信を配布いたしました。今後は様々な場面で、子供たちは進路について考え、時には悩むこともあるかと思えます。勉強するのは子供たち本人ではありますが、学級通信がお子様と一緒に進路について考え、話をするきっかけに少しでもなれば幸いです。

親として、教員として、立場は異なりますが、願いはひとつ。「子供たちが望む進路に進むこと」だと思っております。家庭と学校がお互いに協力しつつ、子供たちのサポートができればと思います。引き続き、ご協力をよろしく願いいたします。何かありましたら、いつでもご連絡ください。

✉ m-nishimura@kanto-ichiko.ac.jp

(お休みをいただいている場合もございます。

万が一、急用の場合は生徒を通してご連絡ください。)

暑さが厳しい中、コロナウイルス感染の不安もあると存じますが、くれぐれもご自愛ください。

西村 瑞穂